

事業実績評価(平成 30 年度分)

資料 2

<掲載事業について>

No.	事業名	区分
1	健(検)診体制の充実と医療費適正化の推進	総合計画 3-7-(2)
2	安全・安心な学校づくりの推進	総合計画 4-2-(1)
3	教職員の指導力向上の取組の充実	総合計画 4-2-(5)
4	地域資源のブランド創出・魅力向上	総合計画 5-3-(2)
5	総合計画の進行管理	総合計画 共-1-(1)
6	適正な受益者負担と公有財産の管理	総合計画 共-2-(2)
7	魅力ある情報発信	総合計画 共-3-(1)
8	市民の参加・参画機会の充実	総合計画 共-3-(2)
9	まちづくりの担い手育成	総合計画 共-3-(3)
10	情報セキュリティ体制の強化	総合計画 共-4-(2)
11	一圏域応援ステーションー 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略
12	公共交通広域化による穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略

<自己評価の選択肢について>

高い	目標達成に非常に効果的であった
↑	目標達成に相当程度効果があった
中	目標達成に効果があった
↓	目標達成に効果がなかった
低い	目標指標無し
-	その他

瑞穂市

(2) 適正な受益者負担と公有財産の管理

所管 財務情報課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-
--------	---	-------------------	---

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 公平性や受益者負担に基づき、費用負担の適正化に努めます。 公平性や受益者負担に基づく費用負担を適正に実施します。また、未利用地や活用見込みがない土地や建物等を処分、貸付ける等、公有財産の有効活用を推進します。 		
	<p>●費用負担適正化推進【重】</p>		

年度別実施計画	30年度(実績)	事業費(千円)	31(R1)年度(計画)	事業費(千円)	32(R2)年度(計画)	事業費(千円)
	●公共施設等総合管理計画と連動した費用負担の適正化、及び公有財産の有効活用の周知	0	0	●公共施設等総合管理計画と連動した費用負担の適正化、及び公有財産の有効活用の周知	0	●公共施設等総合管理計画と連動した費用負担の適正化、及び公有財産の有効活用の周知
●不動産業団体を通じて未利用地売却を推進	0	0	●不動産業団体を通じて未利用地売却を推進	1,326	●不動産業団体を通じて未利用地売却を推進	【調】
●施設使用料の見直し	153	0	●施設使用料の改定	0	●施設使用料の改定	0

目標指標	単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R2(目標)	R7(目標)
-	-	-	-	-	-	-	-

自己評価	<p>目標指標無し</p> <p>【公有財産の有効活用】 森字天王や穂積字領下分等の未利用地の売却ができた。(34,416千円) 【施設使用料の見直し】 行政改革推進委員会へ、公の施設使用料の改定案の意見徴収を行い、31年度において条例改正ができる準備を進めた。</p>
------	--

外部評価	
------	--

【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

③協働

諮問事業(H30年度実施分)

(1) 魅力ある情報発信

所管 総合政策課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-
--------	---	-------------------	---

施策の内容	・若い世代の市政への関心を高めるため、まちづくりや市政に関する情報を積極的に提供する等、市民に伝えるべき情報と市民が欲しい情報とのバランスに留意しつつ、新たな情報提供手段による発信機会を充実します。		
	●情報発信充実事業【重】(広報みずほ、ホームページ等による情報提供の充実、情報発信に関するガイドライン策定事業)		

年度別実施計画	30年度(実績)	事業費(千円)	31(R1)年度(計画)	事業費(千円)	32(R2)年度(計画)	事業費(千円)
---------	----------	---------	--------------	---------	--------------	---------

年度別実施計画	●情報提供の充実、発信等に関するガイドラインの策定	0	●情報発信の充実、発信 ●アプリを用いた広報紙の配信	0 837	●情報発信の充実、発信 ●アプリを用いた広報紙の配信	【調】 【調】
---------	---------------------------	---	-------------------------------	----------	-------------------------------	------------

目標指標		単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R2(目標)	R7(目標)
広報、ホームページの情報満足度(「満足している」と答えた人の割合)		%	-	35.9	16.7	18.5	20	30

自己評価	目標達成に効果があった 地方創生事業である「穂積駅圏域拠点化構想策定事業」において、FaceBookにて穂積駅を中心とした、街の情報を発信した。 また、平成29年度に更新が停滞していた市の魅力発信サイトでは、朝日大学経営学部の畦地教授の研究室から42記事の提供を受け、「マンポ」・図書館・住民・歴史遺産・郷土の偉人など市の魅力を取り上げた。これにより前回のアンケートよりもポイントが微増したものと考えられる。令和元年度も引き続き畦地研究室と連携を行い、学生の視点による市の魅力発信をしていきたい。
------	--

外部評価	
------	--

【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

③協働

諮問事業(H30年度実施分)

(2) 市民の参加・参画機会の充実

所管 市民協働安全課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-							
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民の積極的な参加・参画を促し、市民のアイデアや意見の反映を促進します。 市民がそれぞれの立場でまちづくりに関わっていくためのステップアップの仕組みや参加・参画の新たな手法により、若い世代でも参加しやすい環境を整備します。 									
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり基本条例推進事業【重】(ガイドライン策定、市民ワークショップ、ワールドカフェ等の開催) 									
年度別実施計画	30年度(実績)	事業費(千円)	31(R1)年度(計画)	事業費(千円)	32(R2)年度(計画)	事業費(千円)				
	<ul style="list-style-type: none"> ●参画・協働等ガイドラインの策定 ●若い世代への参加・参画・協働等の促進 	92	<ul style="list-style-type: none"> ●参画・協働等ガイドラインに基づく参加・協働等の促進 ●若い世代への参加・参画・協働等の促進 	296	<ul style="list-style-type: none"> ●参画・協働等ガイドラインに基づく参加・協働等の促進 ●若い世代への参加・参画・協働等の促進 	【調】				
目標指標				単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R2(目標)	R7(目標)
若い世代(40歳以下)の市政への参加・参画割合(審議会・ワークショップ等)				%	-	31.7	34.0	24.0	15	25
自己評価	目標達成に効果があった	<p>市民協働安全課ができ、「まちづくり基本条例」に基づいた市民参画の機会として、小学校区ごとにタウンミーティングを開催した。各校区の地域課題をテーマとしてワークショップを行い、市民と行政が同じテーブルについて、自分のできることを話し合う機会とした。</p> <p>「市民協働」の理解不足や「ワークショップ」の経験不足など、課題は多々あるが、市民協働は一朝一夕で成し得るものではないので、地道な積み重ねの中で、市民協働の意識の醸成と市民協働の事業化へ繋げていきたい。</p> <p>タウンミーティングで実施したアンケート結果でも、第1歩としての意味は十分あるものであったので、今後も改善点を見直しながら実施する。</p>								
外部評価										

【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

③協働

諮問事業(H30年度実施分)

(3) まちづくりの担い手育成

所管 市民協働安全課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標2-(1)雇用・勤労者福祉の充実
--------	---	-------------------	----------------------

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 多様な市民が地域社会の一員であることを意識し、地域を良くしていくために自らができることを考え、活動することができるような啓発活動を実施します。 行政組織として(仮称)協働推進課を設置し、まちづくりに関するセミナーの開催や研修等の事業を実施し、協働への意識向上を図ります。 まちづくりの担い手と連携を進める職員に対し、まちづくり基本条例に関する研修等を実施し協働への意識改革や能力の向上を図ります。
-------	--

主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり基本条例推進事業【重】(まちづくり活動組織の育成、まちづくり人材バンク、まちづくり人材養成講座) ●(仮称)協働推進課の設置(H29年度事業完了)
------	--

年度別実施計画	30年度(実績)	事業費(千円)	31(R1)年度(計画)	事業費(千円)	32(R2)年度(計画)	事業費(千円)
	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくりに関するセミナーの開催 ●まちづくりに関する職員研修実施 	0	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくりに関するセミナーの開催 ●まちづくりに関する職員研修実施 	84	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくりに関するセミナーの開催 ●まちづくりに関する職員研修実施 	【調】

目標指標		単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R2(目標)	R7(目標)
まちづくり人材バンク登録者		人	-	0	0	0	150	300

自己評価	目標達成に効果があった	「まちづくり基本条例」に基づき実施したタウンミーティングで、人材育成研修への参加を呼びかけた。「地域の絆づくりを学ぼう」と題して全4回の研修会を実施し、23人の参加があった。
------	-------------	---

外部評価		
------	--	--

【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

④情報

諮問事業(H30年度実施分)

(2) 情報セキュリティ体制の強化

所管 財務情報課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-
--------	---	-------------------	---

施策の内容	・情報セキュリティ対策やその運用について、専門的知識を持った第三者が客観的に評価を行う「情報セキュリティ監査」を定期的実施します。		
	●情報セキュリティ対策事業【重】		

年度別実施計画	30年度(実績)	事業費(千円)	31(R1)年度(計画)	事業費(千円)	32(R2)年度(計画)	事業費(千円)
	●職員研修(E-learning・サイバーセキュリティ研修)の実施		0	●職員研修(E-learning・サイバーセキュリティ研修)の実施	0	●職員研修(E-learning・サイバーセキュリティ研修)の実施
●セキュリティソフトの更新		1,446	●セキュリティソフトの更新	2,424	●セキュリティソフトの更新	2,469
●安全管理措置等点検の実施		1,988	●安全管理措置等点検の実施	2,020	●安全管理措置等点検の実施	2,024

目標指標		単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R2(目標)	R7(目標)
情報セキュリティ研修受講率		%	50	59	79	77	70	90

自己評価	目標達成に相当程度効果があつた	社会保障・税番号制度として、個人情報保護委員会の立入検査に対応すべく、前年度同様に安全管理措置点検の委託をし、問題点の事前の洗い出しをし、前年の洗い出した事項について取り組み始めた。 今年度、職員研修は、E-Learningの他に集合研修(マイナンバー研修・情報セキュリティ研修)を実施した。そして、パソコンからウイルスが感染したことにより、庁内ネットワーク配下のサーバーやパソコンなどが感染したとの想定で訓練演習を実施。
------	-----------------	--

外部評価		
------	--	--

—圏域応援ステーション— 穂積駅圏域拠点化構想推進事業

所管 総合政策課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標2-(2)商工業の活性化

施策の内容
 ・多くの方が行き交う瑞穂市の玄関口であるJR穂積駅周辺の活性化を行うため、多様な主体により練り上げられた穂積駅圏域拠点化構想の将来ビジョン” みんなの「心」をつ・つ・む場所 ほづみのエキチカ ～圏域のプラットフォームとして ヒト・モノ・コトをつなぐ・つむぐ・むすぶ～”を実現するため、平成31年度までの期間目標を「地域・圏域への認知」と定め、平成29年度を「地域認知の向上と変化のはじまり」と設定、穂積駅の拠点としての認知向上と意識啓発、取組の見える化につながる初動的取り組みを重点的に実施する。

主な事業

● JR穂積駅圏域拠点化構想促進事業	H29全体事業費	23,728千円
● 駅周辺市民協働活性化事業	うち交付金対象事業費	20,736千円
● JR穂積駅圏域拠点化PR事業	うち交付金	10,000千円

年度別実施計画	30年度(実績)		31(R1)年度(計画)		32(R2)年度(計画)	
	事業費(千円)		事業費(千円)		事業費(千円)	
● 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	22,662		● 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	22,888	● 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	22,600

目標指標	単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R2(目標)	R7(目標)
穂積駅乗降客数	人	17,606	17,846	18,188	18,480	18,700	19,000 (H33)
就業人口・労働力人口	人	25,343 (H22国調)	26,730	26,730	26,730	25,000	25,000 (H33)
新規出店数	件	0	2	3	5	6	8 (H33)

自己評価
 目標達成に非常に効果的であった
 事業として3年目になり、「ほづみ夜市」、「空きスペースの利活用」等は順調に推移した。「ほづみ夜市」は売上や来場者を伸ばした第4回、道路使用を行った第5回などの実績があり、「空きスペースの利活用」についても利用者は増えた。また、地域住民の方を中心に「駅南金曜市」が立ち上がり、本事業では物品の貸与や駅周辺敷地の使用について支援を行うなど地域へ活性化が浸透する取り組みも派生的に生じた。

外部評価

公共交通広域化による穂積駅圏域拠点化構想推進事業

所管 総合政策課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標3-(2)公共交通の充実
--------	---	-------------------	------------------

施策の内容	<p>・市東部に穂積駅が位置する瑞穂市と、市の南に位置する安八町、これら2市町の人口ビジョンによると、今後2市町とも高齢化が進み、交通弱者が増加することが予想される。高齢者が生涯活躍するまちづくりのためには、将来を見据えた交通対策を考え、関係する市町が連携し将来的に持続可能で効率的な公共交通の実現を目指す。</p>
-------	--

主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ●パック商品開発営業、クーポン券営業、スポンサー獲得営業 ●観光案内付き路線図作成 ●2市町公共交通会議運営 ●運行開始セレモニーイベント実施 	<p>H29全体事業費 9,652千円 (うち瑞穂市分 5,151千円) うち交付金 1,850千円 (うち瑞穂市分 370千円)</p>
------	--	---

年度別実施計画	30年度 (実績)		31(R1)年度 (計画)		32(R2)年度 (計画)	
		事業費(千円)		事業費(千円)		事業費(千円)
●交流イベントの実施		2,243				
●パック商品開発等営業		324				

目標指標	単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R2(目標)	R7(目標)
穂積駅の乗車人数 (1日平均)	人	8,803	8,923	9,094	9,240	9,500 (H31)	-
安八温泉の年間入館者数	人	247,000	241,574	234,438	236,211	300,000 (H31)	-

自己評価	<p>目標達成に効果があった</p>	<p>30年4月より運行開始となった路線バス「安八穂積線」の更なる利用を促進するために「飲食店等で割引券として利用できるバス乗車証明書の制作」や「1日乗車券の販売を通じたイベント」の2事業を行った。事業を実施することで、当該路線の沿線住民を中心として、幅広く認知を図ることや今後の利用増加が期待される。また、当該路線が幅広い世代の住民に利用されることで、KPI目標である「穂積駅の乗車人数」や「安八温泉の年間入館者数」の増加に直結する効果が期待できる。</p>
------	--------------------	--

外部評価		
------	--	--